

2019 年度事業計画

2018年度において富山労福協は、勤労者の相互扶助の精神を基本に、地域社会との連帯活動に取り組みました。また、勤労者の福祉向上をめざし、講演会・スポーツ大会などに積極的に取り組んできました。

とりわけ前年度は、はじめての取り組みとして、近年における労働福祉事業について認知度が低下していることから、地方連合会と事業団体との三位一体を図りながら、各構成組織に対して単組代表者会議の開催を要請し、労働福祉事業団体としての「出前講座」を開催しました。

くわえて、各産別や単組において温度差があることから、労働福祉事業団体が身近に感じられさらに寄り添うためのアンケートの実施も行いました。昨年末に確認をした中間総括を踏まえ、単年度だけの取り組みとしてではなく、改善・工夫を加味しながら継続的な運動として、各構成組織・単組の組織強化と労働福祉事業団体の活性化に向けて、今後も取り組みを継続していきます。

富山労福協は、先人諸先輩方たちが「共同互助の精神に立脚して、労働者の経済的、社会的地位の向上のための福祉事業活動を目的」として設立してから、60年の節目の年を迎えるとともに、富山県勤労者総合福祉センターは、会館建設から35年が経過し、今日まで「ボルファートとやま」として親しまれてきました。ここ数年、会館の老朽化に伴い先送りしてきた修繕にも順次着手することができ、前年度は会館の空調設備である重油ボイラーから、ヒートポンプモジュールチラーに更新することができました。今後は、水道光熱費であるA重油の高騰と予期しない設備修繕のメンテナンスリスクを回避することができることから、これまで以上に安定経営へ大きく前進することができました。

収益事業では、(株)ボルファートとやま、(株)北モータープールを統合してから5年が経過し、会館事業部・宴会事業部・駐車場事業部として三位一体で効率的な運営をはかり、4期連続で経常黒字を達成することができました。これはひとえに、各労働福祉事業団体はもとより、連合富山・構成組織・単組のご支援の賜物であり、引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

さて今春、あいの風とやま鉄道の完全高架化に伴う、南北歩行者通路が整備され、2020年3月には路面電車とライトレールの南北接続が実現します。くわえて、カナルパーク前に新駅が設置される予定になっていることから、富山駅北周辺の賑わいが加速することで、「ボルファートとやま」が勤労者の集まる拠点として、これまで以上に親しまれ愛されるよう、工夫を凝らしながら活性化させていかなければなりません。

2019年度においても、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」を基本に、社会的連帯を深める運動とともに、政策の実現と暮らしの総合支援の推進を図ります。

富山労福協は、次の70年に向けた共同事業・労働福祉運動の基盤を固める節目の年と位置付け、引き続き県下に働く勤労者の福祉向上に取り組むとともに、収益事業においても安定した収益体制を確保しながら、労働福祉事業団体や労働組合、協力企業のより一層の協力のもと、経営基盤強化に取り組めます。

2019 年度重点実施項目

労福協の基本姿勢である「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」をめざすと共に、労福協の安定経営に取り組みます。

- (1) 勤労者福祉活動の推進
- (2) 経営基盤強化による安定経営
- (3) 各事業部との収益力強化に向けた連携強化
- (4) 福祉事業団体との連携強化
- (5) 各種委員会機能の強化

I 労働福祉事業

勤労者の社会福祉の充実に向けて取り組むとともに、各種事業の効果的な運営に取り組みます。

1. 社会的な連帯を深める運動と政策の実現課題

- (1) 貧困・多重債務の解消と生活支援
 - ・消費者行政・相談機能の強化
 - ・生活困窮者自立支援法改正に伴う対応
 - ・銀行カードローン利用の注意喚起
- (2) 消費者運動との連携
 - ・消団連の活動への積極的参加
- (3) 地球環境保全と食の安全
 - ・食の安全・安心の確保
- (4) 政策制度要求の実現
 - ・中小企業勤労者福祉の向上
 - ・中小企業勤労者福祉サービスセンターの拡充(県内広域化)
 - ・個別事業団体の重点要求の実現
 - ・給付型奨学金の制度拡充と改善
- (5) 防災・減災への取り組み
- (6) フードバンク活動のフォローアップ

2. 勤労者の総合生活支援(ライフサポート)

- (1) 勤労者の福祉推進事業
 - ① 勤労者福祉向上事業
 - ・ライフプランセミナー (2月開催)
 - ・全国労働者福祉強化月間行事
 - ② 文化振興事業
 - ・ゆとり支援事業 (4回)

- ・美の祭典への賛助 (11月)
 - ③ 子育て支援事業
 - ・スキー・スノーボードの集い (1・2月開催)
 - ④ 消費者支援事業
 - ・衛生管理講習会 (1回)
 - ・税制学習会
 - ⑤ 勤労者生活応援事業
 - ・生活見直し相談会 (年2回)
 - ⑥ 講演会の実施
 - ・労働者福祉・消費者支援等の講演
- (2) 勤労者の健康増進事業
 - ① ビーチボール大会 (6月開催)
 - ② ボウリング大会 (地域LSCにて)
 - ③ パークゴルフ大会 (5、6月開催)
 - ④ 健康づくり講座 (1月開催)
 - ⑤ 救命に関する講習会 (地域LSCにて)
- (3) 勤労者交流事業
 - ① 労働者の祭典支援事業 (4月)
 - ② 福祉事業団体新年祝賀会 (1月)
 - ③ 国際交流事業 (3月)
- (4) 退職者・高齢者の支援事業
 - ① 県退職者連合との連携強化
 - ② 労働者福祉事業団体OBとの連携
- (5) 地域ライフサポートセンターの活動推進事業
- (6) 福祉事業宣伝活動事業
 - ① 機関誌の発刊
 - ② ホームページの充実
- (7) 労働者福祉運動・事業の基盤強化
 - ① 福祉事業団体との連携強化
 - ② 労働者福祉運動を担う人材の育成・教育
 - ③ 労働福祉事業団体の活性化に向けた出前講座の実施

II 収益事業 (会館事業・宴会事業・駐車場事業)

2019年度も、収益事業の安定した事業継続に向けて、各事業の売り上げ拡大と収益の確保に努め、全員一丸となり安定経営に臨みます。

とりわけ、富山駅の完全高架化に伴う、南北歩行者通路の整備と路面電車とライトレールの南北接続による富山駅北周辺の活性化が期待されることから、各事業にあってはこの変化を見逃さず、迅速な対応にてこの好機を活かした利用拡大を図り、また更なる経費の削減により、一層の財務体質の強化に努めます。また、収益事業の一体化による更なる運営の効率化についても検討を進めるとともに、引き続き各事業部の自立を図りながら、連携を強化して収益事業全体の経営基盤の安定をめざします。

1. 会館事業（労福協センター）

ボルファートとやま会館と他の事業の双方の価値観を高め、将来も継続して勤労者等からご利用していただけるよう計画的な取り組みを行います。

(1) 経営基盤の強化

- ① テナントの入居促進
- ② 未収金の回収強化
- ③ ランニングコストの検証と見直し
- ④ 環境整備・各種法令遵守基本の会館運営

(2) 将来に持続できる施設管理

- ① 計画的な施設の改修
- ② 老朽化施設の点検と安全の確保

2. 宴会事業（ボルファートとやま）

「安心・快適・おいしい・楽しい」をお客様にお届けすることで顧客満足度向上をめざし、効率的な事業運営と収支計画の達成をはかります

また、富山駅北周辺地域の環境変化に対応できるよう取り組みます。

(1) 安全衛生の徹底

- ① 環境衛生と食品安全の徹底
 - ・手洗いの徹底等健康維持並びに衛生管理の意識向上
- ② 教育訓練による意識啓発
 - ・安全衛生委員会の設置（年4回の開催）

(2) 売上拡大

- ① 新規顧客獲得拡大
 - ・富山市中心部への営業展開強化
 - ・新規エージェントとの連携に伴う県外顧客の誘致
 - ・富山駅南北通路開通に合わせた駅南顧客の拡大
- ② 営業企画力の充実・強化
 - ・お客様ニーズを把握した商品開発
 - ・商品知識の向上による提案営業の実施に伴う単価向上
 - ・個人顧客獲得へ向けた販売ツールの強化
 - ・大型連休（5月・9月）での売上確保の為の企画と実践

- ③ 営業推進力の充実・強化
 - ・営業担当増員で効率のよい訪問営業の実施
 - ・早期リピーター営業による確実な顧客確保
 - ・記念事業等大型案件獲得に向けた情報収集力並びに営業力強化
- (3) サービス意識の徹底と向上
 - ① 顧客満足度の向上
 - ・お客様との価値の共有
 - ・お客様のニーズ、ウォンツを常に考えたサービス
 - ② 苦情ゼロの確立
 - ・お客様との綿密な打ち合わせ
 - ・コミュニケーションの密接化でミスゼロの徹底
- (4) コスト意識の確立
 - ① 無理・無駄の排除
 - ・プライオリティによる作業遂行
 - ② 1件毎の収益の確保
 - ・無駄な値引きの削減
 - ③ 備品管理の徹底
 - ・備品管理表の作成と時節毎の徹底チェック
 - ④ 在庫管理の徹底
- (5) 働き方改革関連法の遵守
 - ① 時間外労働の減少でワーク・ライフ・バランスの適正化
 - ② 有給休暇の取得推進に関する法改正の遵守

3. 駐車場事業部（富山北モータープール）

富山駅北周辺は、環水公園を中心に富山県美術館の新設や富山市総合体育館でのプロバスケットボール(Bリーグ)公式戦の定期的開催など環境変化が著しい状況にあります。更に環水公園を利用しての諸行事なども定例的に行われています。そうした環境変化に対応し、利用者に使いやすく、安全・安心な駐車場であるために、利用者ニーズへの対応や老朽化対策など必要に応じて行います。

- (1) 宴会事業部との連携及び事業企画の検討
- (2) 周辺施設との連携強化
- (3) 貸倉庫の利用推進
- (4) 老朽化対策の対応(腐食防止・雨漏り対策・白線・LED化等)
- (5) 利用者への親切的な対応とサービスの向上

4. 各種委員会の充実

- (1) 事業運営委員会
- (2) 宴会事業推進委員会